

岩手県 釜石市

日頭寺（千寿院分院）

出口 正紀（総務部）



担当業務の内容

私は、東京都市長会からの要請に基づき、東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県釜石市の復旧・復興に力を尽くして支援を行ってまいりました。

【避難所運営】

- ①人の管理（入退所や外出外泊等の把握・健康状態の把握など）
- ②物の管理（市・自衛隊・ボランティアセンター等からの物資受入れと物資要求リスト作成など）
- ③施設の管理（戸締り・簡単な施設や生活物品の修繕など）

苦勞したこと・工夫したこと

私は避難所運営に携わりましたが、短い期間で頻繁に自治体派遣職員が入れ替わることは、避難者にストレスを与えてしまうのではないかと心配していました。

また、被災者の方々の要望を把握・理解せずに行動すると、逆に足手まといになりかねないので、特に注意をはらい、慎重に行動するよう努めました。

印象的なエピソード

ひとりの被災者の方から『被災後の1ヶ月間は、食事を摂れることに感謝の気持ちでいっぱいだったが、2ヶ月が経ったいま、“食べている”というより“食べさせられている”ということに気づいた。“食べている”というのは、「自分で働きお金を稼ぎ」「税金を納め」「買いたい食材を購入」「それを調理し食べる」。そんな当たり前だった生活に早く戻りたい。』という言葉に胸を締めつけられる思いでした。

所感

震災発生から2ヶ月の時期での支援でしたが、そこには、被災者の方々が現状を受け止め、忍耐強く、互いに助け合う姿がありました。我々が生活する東京で同規模の震災に見舞われた場合、過剰なほどに便利となった生活や希薄化する近隣住民との関係から、東北住民のような意識を持つことができるのか、やや心配に思いました。こうしたことから、自治会等の地域コミュニティの益々の充実が大変重要になると改めて感じました。

